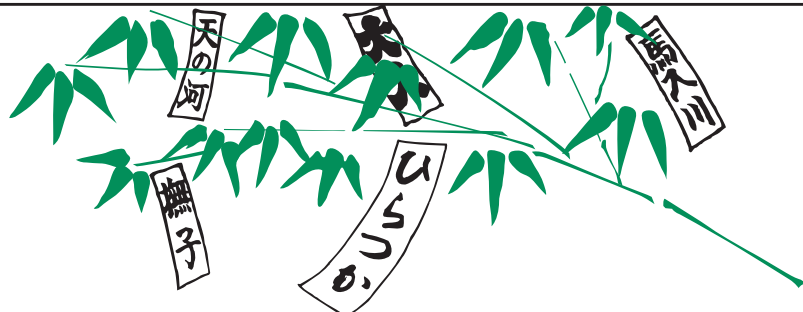




2011~2012年度 国際ロータリーテーマ

Reach Within to Embrace Humanity

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」



HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 杉山善弥 ●副会長 牧野國雄 ●幹事 鶴井雄仁 ●会報委員長 小野 学 (2011~2012年度) E-mail:hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30 ●会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ●事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第2838回 2012年4月26日 グランドホテル神奈中 週報第2838号

本日は、平塚市美術館 館長 草薙奈津子様へ平塚ロータリー大賞奨励賞の贈呈式を行います。また、卓話もいただきます。



平塚市美術館 館長 草薙奈津子様



平塚ロータリー大賞奨励賞贈呈式



R基金副委員長木島山会員より館長のご紹介



木島会員に作成をお願いしました

卓話

「賞を頂いて」

平塚市美術館 館長 草薙 奈津子

この度は平塚ロータリークラブから思いもかけない賞を頂けることになり大変おどろいております。賞を頂くというのは久しくなかったもので、とても嬉しく光栄に思っております。

この賞は美術館での私の仕事に対して頂いたのだと思っておりますが、考えてみますと私が美術館に勤務して今年の3月で丁度8年、今や9年目に入っています。

平塚市から美術館館長のお話を頂きましたとき、私は母を亡くし、もう一度仕事をしなければと思っていましたので、丁度いいタイミングだったと思っております。それまで4年ほど母の、いわゆる老人介護をしていましたので、これは母がプレゼントしてくれたのかなーと思ったりもしました。

いざ美術館に来てみますと、入場者数は3万人ちょっと。とにかく静かで、綺麗な美術館でした。でも人の集まるべき所がこんなに静かで綺麗なのは問題ではないかと思いました。

年間の展覧会数も少ないですし、日本画を専門とする私が聞いたこともないような日本画家の展覧会をしていました。そこで展覧会数を増やすことと、もっと著名な

作家の展覧会をすることにしました。

幸い平塚市美術館は700㎡位の展示場が2部屋並んでいます。そこで2つの展示会を同時に開催することにしました。一つは企画展、もう一つは所藏品展です。

この所藏品展は今では特集展と呼び、必ずしも所藏品ばかりではないのですが、企画展の入場券で見ることができますので、企画展にいらしたお客様が特集展を見て下さる割合がとても多いのです。ですから自ずと入場者数が上がりました。

また展示会は平塚市民のみを対象としては市が望む入場者数を得ることはできません。そこで他県からも来て頂けるような全国区の展覧会をすることにしました。こうしますと、市民がわざわざ東京まででかけなくても、平塚市内で質の高い一流の展覧会を見ることができ、という一石二鳥の効果がありました。

公立美術館の場合、地元でしか知られていない作家の展覧会をするところがありますが、それはそれで意味のあることではあるのですが、私は美術館というのはごく一部の地元作家たちのためにあるのではなく、平塚市民全体のためにあると考えるからです。

時々自分を売り込んでくる近辺の作家もいましたが、それは全く無視しました。これは私が他所者だったから出来たのかとも思っていますが……。そしてとにかく私の価値観で作家、展覧会を決めていきました。

どういう価値観かというと、著名な作家の展覧会と、著名度は今一つだが実力のあるやや若手の作家の展覧会を同時に開催するということです。

著名な作家の展覧会は全国から作品を集め、当然、費用もかかりますが、若手実力派の展覧会は、作家所蔵の作品+関東近辺から借用する作品とすることによって、経費を安くするという工夫もしました。これはかなり成功したと思っています。しかも若手と思っていたのですが、最初に中野嘉之さんという50年代の実力派の展覧会をさせていただいたので、自ずとレベルが上がることになり、その後、伊藤彬、斉藤典彦、内田あぐり、山本直彰という作家の展覧会をするようになり、かなり注目を集めることができました。またいずれの作家も速水御舟、山本丘人、いわさきちひろなど著名な作家と組み合わせましたので、かなりの入場者数を得ることができました。今は棟方志功展と同時に木下晋という作家の展覧会を開催しています。この組み合わせも中々良かったと思っています。どうぞご覧ください。

こういう現存作家の展覧会をしますと、伊藤彬さんからは何十点という作品の寄贈を受けましたし、そのほかの作家からもこの展覧会を契機に御寄贈を受けることがあり、購入予算の無い平塚市美術館としては大いに助

<出席報告>

本日	4月26日	会員数	61名	対象者	55名	出席者	42(37)名	出席率	67.27%			
前々回	4月12日	会員数	60名	対象者	54名	出席者	60(54)名	出席率	100.00%	MUP 0名	計 54名	修正率100.00%

かっています。

作品を寄贈して頂くというだけでなく、山本直彰さんはここでの展覧会によって芸術選奨文部科学大臣賞を受け、さらに神奈川県文化賞も受賞しました。これは山本さんが評価されたと同時に、平塚市美術館も評価されたわけで、本当に嬉しいことです。

こうして入場者数も3倍近くに上がり、平塚市美術館の規模の美術館としては理想的な入場者数になったのではないかと考えています。

展覧会はいわば全国区の展覧会を目指していますが、市立の美術館としては当然市民に還元するようにならなければなりません。そこで市民向けにはワークショップの充実を図ることにしました。それまではほんの20人くらいの人しか対象になっていませんでした。彼ら彼女らが毎日のように館にやってきて3つのアトリエを占拠していたのです。

そこで短期のプログラムを沢山つくり、多くの市民に参加して頂けるようにしました。今では1歳児から、高齢者まで様々な人々に参加して頂けるようなプログラムとしています。また中学生ボランティアに手伝っていただいて罐バッチを作るワークショップなどもしています。こうして年間1000人近くの方が参加して下さるようになりました。

今では市民からの苦情も来なくなりましたし、まあまあ順調に美術館は運営されているのではないかと考えています。

でも美術館はいつも貧乏で、そのため、したいこともできずにいます。そこでフレンズ倶楽部というサポーターズクラブを立ち上げました。

まだ昨夏にできたばかりですが、大蔵前市長をトップに10人の委員が努力して下さい、これも順調に行っているようです。

3月には会員30名余りで箱根のポーラ美術館など他館見学に行き、美術と美味しいお食事でもとても楽しかったと聞いています。

でも2000円の会費の一般会員ばかりが増えると、赤字になってしまいます。私は会費10000円の特別会員、あるいは法人会員が増えてくれることを切に願っています。そうしますと、美術館をサポートするという本来の目的が実行されるのではないかと思います。

どうぞ皆様方もお一人でも多く美術館のフレンズ倶楽部に入会し、美術館を支えて下さいますよう、よろしくお願いたします。

草薙奈津子様プロフィール

- 慶応義塾大学文学部哲学科卒業
 - 1969～98年まで 山種美術館学芸部に勤務、学芸部企画・普及課長となる。この間、近代・現代日本画に関する内外の多くの展覧会を企画。また、著作、公演、美術評論活動に携わる。
 - 1999～2004年まで 学習院大学
 - 2000～2004年まで 慶応義塾大学、東京芸術大学 非常勤講師
 - 2004～2005年 美術評論家連盟常任委員長
 - 2004年より 平塚市美術館館長となり、現在に至る。美術史学会、フェノロサ学会、明治美術学会各会員。美術評論家連盟常任委員、協議会委員など多数歴任。専門は近代、現代日本画
- 平塚市美術館での展覧会企画・監修
「山本丘人展」「速水御舟展」「堀文子展」「伊藤深水展」など。
主な著書
「現代の水墨画」(講談社)・「東山魁夷全集3」(講談社)
「新潮日本美術文庫30 上村松園」(新潮社)
他、多数の著書が挙げられます。

<委員会報告>

- スマイルボックス委員会 吉柳恵子委員長
1～3月のスマイル大賞を発表いたします。

1月(2人)

升水富次郎様 ご結婚60年を迎え、今後も夫婦仲良く100歳まで頑張りたいとのことです。長生きして実現して欲しいと思



スマイル大賞の皆様

鶴井 雄仁様

全国ご当地どんぶり大会選手権で「やまゆり牛ステーキ丼」が第3位に入賞されたとか。おめでとうございます。ちなみに報道で知り、私も石川肉店で購入していただきました。おいしかったです。

2月(1人)

西村 裕子様 バレンタインに手作りのハート最中とチョコ饅頭を会員全員にくださりまして、その上スマイルまでしていただき、愛を感じました。とてもおいしかったです。ご馳走様でした。

3月(3人)

小泉 芳郎様 北里大学病院に10日間ほど入院されて早期胃ガンの退治されたそうです。早期発見、早期治療でお元気になられてよかったですね。

小林 域泰様 公証人を3月に退職されて弁護士登録に向けてあわただしい日々を送っていられるとか。お体に気をつけてがんばってください。

鳥山 優子様 少年少女マラソン大会では一瞬雨が止んだとか。鳥海さんの行いがよかったのかなというスマイルもありましたが、お疲れ様でした。

<会長報告>

◎ 現二宮RC会長 加藤正人様のご母堂(享年87歳)が4月19日ご逝去されました。通夜・葬儀は22日・23日で終了しております。謹んでご通知いたします。ご冥福をお祈り申し上げます。

◎ GSEで当地区を訪れておりました、ブラジルのKimura Hiroki リーダーよりお礼のメールをいただきました。

◎ バンコク国際大会へご出席の会員のみなさまへ、元米山奨学生モーさんからメールが届きました。

私は国際交流基金で勤めて少しずつですが、お仕事も環境も慣れてきました。来月末には、自分の授業で日本語を教えます。バンコクに来る方が私に用があれば遠慮なく、ご連絡をください。皆様とお会いできるのを楽しみにしております。

◎ 第62回湘南ひらつか七夕まつりへの協賛のお願い(例年30,000円)

◎ 平成24年平塚市中央公民館利用団体調査票の提出依頼(事務局より提出します)

◎ 下期情報集会のテーマを決めました。「出席率を向上させるために」です。

各グループ幹事は6月7日の例会時に報告の予定ですので、集会開催をよろしくお願いたします。

<メイクアップ> 0名

<ゲスト・ビジター> ゲスト 草薙奈津子様(受賞・卓話者)

<本日のスマイル> 14名

<卓話・行事予定>

- 5月 17日(木) プログラム委員会(卓話予定)
- 24日(木) → 25日(金) 春の家族会(夜間例会) 18:00～ホテルサンライフガーデン
- 31日(木) 河内川あじさいの会 副会長 木村美江子様
- 6月 7日(木) 下期情報集會報告
- 14日(木) プログラム委員会

<市内例会変更>

平塚北 5/15(火) 移動例会(ファミリー例会)